



バイエル薬品株式会社
〒530-0001
大阪市北区梅田 2-4-9
TEL 06-6133-7333
www.pharma.bayer.jp

News Release

コラボレーションを通じてデジタルイノベーションを推進:

バイエル薬品、「G4A Tokyo Dealmaker 2020」のコラボレーション合意企業を発表

- 募集課題(研究開発)において株式会社 pipon の「医薬品の規格及び試験方法の比較書類自動作成システム」と「効率的なプレゼンテーション資料の構築システム」を採択
- 両社はこれらのシステムの実用化に向けた今後のコラボレーションに合意
- G4A Tokyo 特設サイト(www.g4atokyo.jp)にて公開

大阪、2021年3月16日 — バイエル薬品株式会社(本社:大阪市、代表取締役社長:ハイケ・プリンツ、以下バイエル薬品)は本日、革新的なデジタルヘルステクノロジーを有する企業とバイエルのコラボレーションの機会を支援・提供するオープンイノベーションプログラム「G4A Tokyo Dealmaker 2020」において、コラボレーション合意企業を発表しましたのでお知らせします。

今回で7回目となる「G4A Tokyo Dealmaker 2020」では、昨年6月1日から8月31日まで、バイエル薬品の日本における研究開発、循環器・腎領域およびオンコロジー領域に関するビジネス上の課題について解決策を募集しました。複数回のオンラインマッチングミーティングを経て、募集課題(研究開発)において株式会社 pipon の「医薬品の規格及び試験方法の比較書類自動作成システム」と「効率的なプレゼンテーション資料の構築システム」を採択し、同社とこれらのシステムの実用化に向けた今後のコラボレーションに合意し覚書を締結しました。

株式会社 pipon 代表取締役社長の北爪 聖也氏は、バイエル薬品とのコラボレーションについて次のように述べています。「当社はバイエル薬品とともに本システムの実用化に向けた共同研究に取り組み、新薬の開発プロセスの短縮に繋げていきたいと考えています。デジタル・テクノロジーを用いたアプローチにより、さまざまな情報の集約、解析などのプロセスを効率化していくことで、一日でも早く新薬を患者さんに届けることに貢献してまいります」



バイエル薬品オープンイノベーションセンター長である高橋 俊一は、次のように述べています。「G4A Tokyo Dealmaker は今年で 3 回目となります。これまでに 80 社を超える企業からの応募があり、そのうち約 15 件の提案に関して提案企業と詳細な検討を行いました。現在、4 つのプロジェクトが進行中です。私たちはパートナー企業の技術とバイエルの製薬企業としてのノウハウを組み合わせることで、イノベーションの創出を目指しています。今回のコラボレーションにおいても、株式会社 pipon と一緒に、より良いソリューションを作り上げていきたいと考えています」



【募集課題(研究開発)では以下の 2 案件を採択】

企業	概要
株式会社 pipon	日米欧での医薬品試験方法の比較表作成自動化 医薬品の品質を確保するため、原薬や製剤、添加剤などの品質は、それぞれ確立され、承認された規格及び試験方法 (TS: Testing Standard) により管理されています。新薬の開発申請においては、新規の原薬等にはあらたに TS を設定する必要があります。一般的に、TS を作成する際は類似製品の公定書規格を参照することが多く、各公定書の各項目を比較検討する必要があります。通常、原薬の比較表を作成するのに 3 時間程度かかるところを、数分へと短縮が見込めるシステムの提案がありました。
株式会社 pipon	大容量パワポ資料の検索効率化 各国、または、各プロジェクトにおいて、規制要件の概要等をプレゼンテーション資料としてまとめることが多く、それぞれの会議体において多種の資料が存在しています。プレゼンテーションスライドは多くの画像や画像化されたテキストを含むため検索が難しく、またファイルサイズが大きいためマニュアルで該当する項目を抽出・整理する作業に時間を費やしています。今回、資料をスライド単位で検索・抽出・リユースすることにより、作業効率化が見込めるシステムの提案がありました。

G4A Tokyo (ジフォーエートキー) について

G4A は、デジタルヘルスの領域において革新的ソリューションの開発を支援するドイツ・バイエル社のオープンイノベーションプログラムです。日本では 2016 年より、国内のデジタルヘルス領域を対象としたローカルプログラム「G4A Tokyo」を開始しました。バイエル薬品はライフサイエンスに関する課題を提示し、デジタルヘルス・スタートアップから各課題に対する革新的なソリューションを募集します。第 1 回から第 4 回はデジタルヘルスのイノベーターを支援する助成金プログラムを実施し、第 5 回以降はスタートアップ企業とのマッチングプログラム「G4A Tokyo Dealmaker」を実施しています。詳細は www.g4atokyo.jp をご参照ください。

バイエルについて

バイエルは、ヘルスケアと食糧関連のライフサイエンス領域を中核事業とするグローバル企業です。その製品とサービスを通じて、世界人口の増加と高齢化によって生じる重要課題克服への取り組みをサポートすることで、人々の生活と地球の繁栄に貢献しています。バイエルは、持続可能な発展を推進し、事業を通じて良い影響を創出することに尽力します。同時に、収益力を高め、技術革新と成長を通して企業価値を創造することも目指しています。バイエルブランドは、世界各国で信用と信頼性および品質の証となっています。グループ全体の売上高は 414 億ユーロ、従業員数は 100,000 名 (2020 年)。特別項目計上前の研究開発費は 49 億ユーロです。詳細は www.bayer.com をご参照ください。

バイエル薬品株式会社について

バイエル薬品株式会社は本社を大阪に置き、医療用医薬品、コンシューマーヘルスの各事業からなるヘルスケア企業です。医療用医薬品部門では、循環器・腎臓領域、オンコロジー領域、眼科領域、婦人科領域、血液領域、画像診断領域に注力しています。コンシューマーヘルス部門では、プレナタルサプリメントや美容サプリメント、腔カンジダ抗真菌剤に注力しています。同社は、技術革新と革新的な製品によって、日本の患者さんの「満たされない願い」に応える先進医薬品企業を目指しています。詳細は www.pharma.bayer.jp をご参照ください。

バイエル薬品株式会社

2021年3月16日、大阪

※本資料は、国内の報道関係者の方々を対象に、バイエル薬品の企業活動に関する情報を提供しています。一般の方に対する情報提供を目的としたものではありませんのでご了承ください。

将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statements)

このニュースリリースには、バイエルの経営陣による現在の試算および予測に基づく将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statements) が含まれている場合があります。さまざまな既知・未知のリスク、不確実性、その他の要因により、将来の実績、財務状況、企業の動向または業績と、当文書における予測との間に大きな相違が生じることがあります。これらの要因には、当社の Web サイト上 (www.bayer.com) に公開されている報告書に説明されているものが含まれます。当社は、これらの将来予想に関する記述を更新し、将来の出来事または情勢に適合させる責任を負いません。